

おきさちさんのコラム ナチュラルクリーニング

〈今回使ったアイテム〉

- 洗たく槽クリーナー
- 重曹
- 酸素系漂白剤
- 粉石けんスノール



その③ 「臭いやカビ！憂鬱な梅雨対策は、さわやかな季節の今から！」

もうすぐ梅雨。臭いやカビが気になりますよね……。快適に過ごせるよう、今のうちから手を打っておきましょう♪

まず手を付けたいのが洗濯槽。洗濯機が汚れていると、衣類に雑菌やカビをつけることになってしまいます。そこで便利なのが「洗たく槽クリーナー」。主成分の酸素系漂白剤を効果的に使うためには、残り湯などの「お湯」を使うのがポイント。縦型洗濯機で、槽洗浄コースがない機種は、裏ワザとして「毛布洗いコース」がおすすめです。「毛布洗いコース」は、槽そのものが回るため、洗濯槽の外側に付いているカビや石けんカスなどの汚れが水流の勢いではがれ落ちます。(注1)

洗濯機を、洗濯カゴ代わりにしないとか、洗濯が終わったら蓋を開けて乾燥させておくのはもちろんですが、洗濯後、洗濯槽に重曹を撒いておくのもアイデアです。吸湿作用があり、洗濯槽をカビが好まないアルカリ性に保つため、カビや雑菌の繁殖を抑えてくれます。



タオルやTシャツは、雑菌が残っていると、乾いている間は臭わないのに、湿ったとたんに臭ってきますね。日光消毒してもやっぱり使うと臭い……。そんなときは、綿100%の素材なら、大きな鍋(注2)にタオルとお湯を入れて、ぐらぐら煮沸するのもおすすめ。触れるくらいまで冷めたら、軽く絞ってそのまま洗濯機で、他の洗濯物と一緒に洗うだけです。一度煮沸すると臭いはすっきり消えますの



で、お試しく下さい。襟首部分などの皮脂汚れも、熱の力で溶けてきれいになる、というおまけつきです。台所のタオルなどは湿った状態が続くとすぐに雑菌が繁殖するので頻繁に煮沸しましょう。食中毒が心配な季節は特に注意が必要です。

お風呂場のカビは、表面に生えている初期のものなら重曹を歯ブラシにつけて磨けば落ちます。タイルの目地やゴムパッキンにカビの根が生えてしまったら、酸素系漂白剤と粉石けんを同量混ぜ、ぬるま湯を少し入れて、とろっとしたペースト状にします。それをカビに塗り付け乾かないようラップをして一晩放置。翌朝歯ブラシでこすると真っ白です。簡単なので早めにとちよこちよこしておけば、強力な洗剤を使わずに済みます。

カビも臭い(雑菌)も私達と同じ地球上の生き物です。仲良



くしたくはないけれど、強い洗剤で戦うとこちらも武装しなくては いけません。ほどよく距離を保ちながら防ぎたいものですね。

(注1) 使用前に、洗濯機取扱説明書をご確認ください。※ドラム式洗濯機でのご使用はお控えください。(注2) アルミ鍋は変色の恐れがありますので、使用できません。



興 幸子(おきさちこ)さん

大学で天然物化学を専攻し、製薬メーカー、調剤薬局に薬剤師として勤務。安全で気持ちの良い生活法を提案する「ナチュラル家事」の講師として各地で講演中。薬剤師、社団法人アロマ環境協会認定アロマセラピーアドバイザー、ハウスキーピング協会認定整理収納アドバイザー